

周防大島町の話題



▲献血を行う藤本町長

献血にご協力をお願いします

3月11日、大島・久賀地区において献血が行われ49人にご協力いただきました。

献血された輸血用血液製剤の多くは、がん（悪性新生物）患者さんを中心とした病気の治療に使用されています。血液は、人工的に造ることができず、また、長期保存もできないものです。

近年では若年層の献血者が減少傾向にあり、輸血を必要としている方々を支えていくためには、各年齢層はもとより、若年層の協力がますます必要になっていきます。皆さまのご協力をお願いします。

山口県オリジナル柑橘「ゆめほっぺ」

3月18日、ゆめほっぺ（せとみ）の初荷出発式がJA山口県周防大島柑橘選果場にて行われました。

令和6年産は、夏場の高温・少雨、冬季の低温などがありましたが、生産者の徹底した管理により、濃厚で高品質な果実に仕上がっているとのことでした。

せとみは、「清見」と「吉浦ボンカン」を掛け合わせて育成された山口県オリジナル柑橘で、せとみのなかでも糖度13.5度以上、酸度1.35%以下のものを「ゆめほっぺ」として出荷されています。

薄皮が口に残らないみかんのような柑橘で、濃厚な甘味と「ぷちぷち」と弾けるような独特な食感が楽しめます。



▲選果の様子（ゆめほっぺには、新しい夢を託すとともに、頬が落ちそうなほど美味しいという意味が込められています）



▲大会の様子

サッカーを通じた交流

3月29日、30日、第28回サザン・セト大島少年サッカー大会が開催され、県内外から32チームが集結。周防大島町陸上競技場と長浦スポーツ海浜スクエアを会場に、熱い戦いを繰り広げました。また、29日にはフレンドリーマッチも開催され、サッカーを通じた子供たちの交流が行われました。

初日の予選リーグを勝ち進み、2日目のトーナメントで決勝に駒を進めたのは、広島県から参加のコスモ東広島FCと田布施町から参加の麻郷サッカースポーツ少年団。前半はお互いに譲らない展開になり、後半に1点をもぎ取ったコスモ東広島FCが優勝し、連覇を達成しました。